

栃木市長就任にあたってのあいさつ（要旨）

就任のあいさつ

- ・栃木市長の重責を担わせていただくことになり、課せられた使命の大きさを厳粛に受け止めると共に、栃木市の未来に新しい風を吹かせるため、そして、元気な栃木市を作っていくために、精いっぱい取り組んでいく。
- ・新たな栃木市が誕生してから8年、また、一市五町が一緒になってから4年、新しく大きくなった栃木市には、誇れるものが数多くあり、それらを活かしながら、栃木市をさらに魅力ある街にしていきたい。
- ・「栃木市に住んでいてよかった」「栃木市に生まれてよかった」と、皆さんに思っただけのように、次の3つの理念を基本として、市政運営にあたっていく。

1 「地域間の融和と発展」

- ・地域間の融和をはかり、合併の意義をよりいっそう確かなものにしていく。
- ・近隣都市との連携を密にし、融和をはかり、次の段階である「県南の中核都市づくり」を目指す。

2 「財政の健全化」

- ・将来を見越した行財政運営を行っていくため、肥大化した支出の解消に努める。
- ・優先事業を見直し、行政経営の健全化を進める。
- ・将来にわたる安定した歳入の確保を目指し、農・商・工との連携による市の活性化を図る。

3 「100年人生の都市づくり」

- ・新たな時代、100年人生のライフワークを踏まえた、少子・高齢化対策として安心して子供を産み、育てることのできる環境づくりや、健康寿命の延伸策に取り組む。
 - ・災害への備えもしっかりと行い、いつまでも元気に、そして安全・安心に暮らせる街をつくっていく。
- ・これまで議員として5期19年間、「政治とはみんなの夢を実現させること」この言葉を信条としながら、議員活動を行ってきた。
- ・これまでに培った経験を十分生かしながら「ひとり一人を大切に、ひとり一人が主役のまちづくり」を実現させていくため、「一緒懸命」夢の実現を目指す。

○特に進めなければならない項目

次に、わたくしが市民の皆様から生の声を伺った中で、特に進めなければならない項目について申し上げます。

1 文化芸術館建設の見直し

- ・担当部署に建設コストを削減するよう、設計等を見直しを指示。

2 とちぎメディカルセンターへの産科開設

- ・全国的な産科専門医不足により、開設までの道のりは時間がかかると思うが、獨協医科大学をはじめ、各医療機関と連携し、出来るだけ早期に、産科開設を目指していきたい。

3 給食費の無料化

- ・次代を担う子どもたちの健全育成と、それを支える家族の経済的負担を軽減するため、給食費の無料化を目指していきたい。
- ・当面は、財政状況を見極めながら、無料化に向けた検討を進める。

4 市長報酬の削減

- ・市長報酬については、30 パーセントの削減を実施する。
 - ・6 月定例議会に上程し、ご審議していただく予定。
-
- ・このほかにも、各種事業の見直しを行い、優先事業について決定していく。
 - ・将来の子や孫に負の遺産を残さぬよう、肥大化した財政赤字の解消に努め、栃木市の身の丈にあった予算にしていかなければならない。
 - ・市内各地域の均衡あるまちづくり、健全な財政運営、そして、地域・近隣都市間の融和をはかりながら、市民の皆様とともにまちづくりに取り組んでいく。

シティプロモーション課
担当 福田
電話 0282-21-2317